

2020年度 理数科1・2年生研究Ⅰ、Ⅱ 「桑高エッグドロップ甲子園」

1. 日時：令和2年10月12日（月） 13：10～15：00
2. 場所：三重県立桑名高等学校 視聴覚教室
3. 内容：新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になった理数科合宿や秋の校外研修の代替として、「桑高エッグドロップ甲子園」を10月12日（月）に実施しました。1・2年生が学年を超えてお互いに教え合い、刺激を受けながら、非常に楽しく積極的に取り組む様子が見られました。3階からという高さもあり、なかなか難しかったですが、14班中1つの班がヒビのみ、もう1つの班が無事に割れずに卵を守り通すことが出来ました。割れてしまった班も多かったですがその原因を後で話し合うなど、皆で様々な学びを得ることが出来ました。

※「エッグドロップ甲子園」とは、生卵を10mから落としても割れないよう卵を守る紙製のプロテクターを工夫して作成し落下速度の速さと正確性などを競う競技です。この競技は東京大学や立命館大学で開催されているものです。

【生徒の感想】

- デザイン性を保ちつつ衝撃を吸収できる構造を 仕上げるのが難しかったです。けれど色々なアイデアを出し合っていく中で居心地のいい雰囲気になり、1年生とも親しくなれた気がします。（理数科2年生）
- アイデアを出す段階で、5人全員で自分が考えたことを共有できた。チームで1つのものを作ったり、一つのイベントを計画したりするときこの過程は大切だと思った。（理数科1年生）

4. 様子



(プロテクターの作成)



(プロテクター原理のプレゼン)



(落下実験の様子)